



## 重点施策 1

# 将来を見据えた人づくり

人口減少が続き社会環境が大きく変化していく中で、持続可能な社会を築いていくためには、本市の将来のまちづくりや産業を支える人材の確保が不可欠であることから、人づくりを今計画の最優先の課題と捉え、教育現場と連携しながら、子どもの学習環境を改善し、教育の充実を図るとともに、子育てに関する支援の拡充を図ります。

この方針の下、まずは小中学校において、前期基本計画の期間中に、校舎等の耐震化の完了にめどをつけることとし、老朽化が著しい校舎や施設の整備や補修に、従来以上に積極的に取り組むこととします。

また、すべての普通教室へのエアコンの設置やトイレの洋式化など、児童生徒が学習活動に集中できる環境を整えるほか、児童生徒の学習意欲の向上や効果的な学習につなげるため、デジタル教科書の導入や学校図書館の電算化<sup>※16</sup>など、ICT<sup>※17</sup>の活用を進めます。

さらに、支援の充実を図るため、待機児童<sup>※18</sup>が発生することのないよう、必要な施設を確保しながら、留守家庭児童クラブ<sup>※19</sup>の運営の改善を図るとともに、老朽化した保育園の整備や受入体制の確保に努めます。



※16 電算化：コンピュータ等電子機器を導入すること。

※17 ICT: Information and Communication Technology(情報通信技術)の略。コンピュータやネットワークに関連する情報通信技術などの総称。

※18 待機児童：認可保育所へ入所申請をしたものの入所できない児童のこと。

※19 留守家庭児童クラブ：

保護者が就労等により昼間家庭にいない小学校の児童を対象に、支援員により遊びや生活の場を提供し、児童の健全な育成および保護者の子育てと仕事の両立を図る子育て支援事業のこと。



### 児童生徒の学習環境の充実

- 児童生徒の確かな学力につながる学習の基礎・基本を徹底して学べる環境づくり
- 児童生徒や地域に応じた創意工夫のある取組による特色ある学校づくり
- 計画的な建替え、改修、整備による安全で機能的かつ快適な教育環境の確保

### 子育て支援の充実

- サービス提供主体との協力による子育て環境の充実
- 適正な保育サービスを提供するための保育士の確保

## まちづくりの指標

指標	単位	実績値	目標値 (R4)
子育て支援に「満足」、「どちらかといえば満足」している人の割合	%	49.8 (H27)	55.0
小中学校の耐震化率	%	91.2 (H29)	96.3
小中学校の全国学力・学習状況調査における平均正答率の全国に対する割合	%	95.3 (H30)	100
待機児童の数 (保育園)	人	0 (H30)	0